



GESC だより

男女共同参画推進特別委員会

GESC だよりスタートします !

プロローグ

2010年4月現在、電気学会には約23,900名の会員が所属していますが、会員数は減少傾向にあり、また、女性会員の割合は全体のわずか1.7%に過ぎません。電気系分野の今後の発展のためには、男女を問わずより多くの方々が多様に活躍できる環境作りが必要であると考え、電気学会では、2007年1月「男女共同参画推進特別委員会、通称GESC（ジェスク）」を立ち上げました。

GESCではまず、電気系分野の大学、研究所、企業などを対象とした実態調査を実施しました。この結果から、電気系分野において男女共同参画を推進するためには、①理工系分野に進学する女性数の増加、②理工系職種に就職した女性が働き続けることのできる環境の整備、が特に重要であることが分かりました（電学誌、Vol. 128, No. 8, pp. 559-564）そして、毎年夏休み期間中に開催される『女子中高生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～』に3年連続で参加し実験デモを行うなど、電気の大切さ、おもしろさを女子中高生に伝える活動にも取り組み始めました。更に、子育て中の会員が、安心して学会活動に参加できるように、全国大会での託児所設置も実現しました。

今回、GESCの活動や、さまざまな電気系分野での技術



女子中高生夏の学校の模様

者・科学者の活躍を学会員の皆様にもっと知っていただくために“GESCだより”という企画を立ち上げました。

このだよりでは、GESCが実施している活動の紹介や、電気学会では数少ない女性技術者・研究者の職場や日常の様子、ベテラン電気技術者たちが語る「技術者への道」、「電気技術に携わる喜び」などを掲載していきます。これから電気技術者としての道を歩もうとしている、または歩もうかどうか迷っている学生の皆さんにも参考になる情報をいろいろと紹介していく予定です。なお、GESCホームページ（<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/16-committee/gender/index.html>）には、質問コーナーも設けておりますので、疑問、質問や活動内容についての提案などがあれば、どしどしお寄せください。

これからもGESCの活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
男女共同参画推進特別委員会

技術者からのメッセージ

仕事のやりがい、おもしろさ

今の仕事 | 電機システム技術部の部長として、全社の電気機器全般の技術開発を推進する役目をしていますが、研究者としては主には開閉装置の開発を担当してきました。開閉装置と言ってもピンとこない人が多いと思いますが、家の中で電気を使いすぎるとブレーカというもののスイッチが切れて、テレビが消えたなんて経験をしたことはありませんか？あのブレーカも開閉装置の1つです。

入社当初 | 大学を卒業して会社に入って、最初は電磁界解析技術を勉強しながら加速器用の電磁石などの磁気設計や計測評価を手がけていました。コイルに電流を流して発生する磁場を利用して働く電気機器の解析設計の1つが磁気設計ですが、磁気設計というとモータを連想する人が多いと思います。でも、開閉装置やIHクッキングヒータ、MRIなども電気を流して利用する機器であり、磁気設計を必要とする分野、製品は本当に幅広く、奥が深いということ、会社の上司、先輩から教えてもらいました。

電気工学って？ | 数学の世界から電気工学に飛び込んでしまった私は、電磁気なんて高校物理程度の知識しか

なく、正直なところ続けられるだろうかと不安でした。でも、電気機器は色々な技術が組み合わさってでき上がっているせいか、男性、女性関係なくいろいろなことを聞き合える雰囲気があります。ハードウェアだけでなく、制御やデバイスなど幅広い技術を結集したものが電機機器であり、種々なアプリケーションの仕事があります。たまには女性には手を出せない重量物を扱うこともあります。そこは男性と協力して、女性でないとできない緻密な作業もあります。何より、いろいろな技術をいかに効率的に組み合わせるか！仕事と家事・育児を両立させる⁴わがを自然と身に付けている女性は非常に有利であると言えます。電気工学って男性の仕事なんて思わずに、ぜひ、興味を持って、今の研究、開発を続けてみて下さい。



竹内 敏恵 Profile たけうち としえ

- ・大阪市出身
- ・大阪大学理学部数学科を1988年に卒業
- ・その後、三菱電機(株)入社、中央研究所(現先端技術総合研究所)に配属される
- ・1990年に結婚、1994年に出産、育児休暇後1995年4月に職場復帰
- ・2005年東京大学にて工学博士を取得
- ・2010年に三菱電機先端技術総合研究所電機システム技術部の部長に就任
- ・第42回市村産業賞の貢献賞を2010年4月に受賞